

2022年度 展覧会スケジュール

第4回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ 2022/4/16-5/29

2022/4/16(土)-5/29(日)

瀬戸市美術館開館40周年記念
せとものフェスタ 2022 瀬戸市美術館特別展

第4回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ -瀬戸の原土を活かして-

今年で第4回目となる瀬戸・藤四郎トリエンナーレは、瀬戸市内の陶土採掘場で「自ら土を採集し」、「自ら採集した土で粘土をつくり」、「自らその粘土で制作する」世界で唯一の同じ素材で競い合うコンペティションです。

今回は、全国各地より応募があり、2021年8月に原土採集を行いました。その後、約7カ月の間、それぞれの応募者たちが瀬戸で採集した原土から粘土を精製し、作品を作り上げました。132名の方が出品され、そのなかから4名の審査員による審査によって入賞・入選した作品を展示します。同じ原土から作られた多彩な作品をご覧ください、原土の可能性を感じていただければと思います。



第4回グランプリ受賞作品
赤平史香
《ターマトグラフの針の先》

休館日：5/10、5/30～6/3、6/14、7/12、8/1～8/5、8/9、9/13、
9/26～9/30、10/11、11/28～4/14（空調設備工事に伴う臨時休館）

皇室の名品 2022/6/4-7/31

收藏絵画名品展 2022/6/4-7/31

收藏陶芸名品展 2022/6/4-7/31

2022/6/4(土)-7/31(日)

瀬戸市美術館開館40周年記念 瀬戸市美術館特別展

宮内庁三の丸尚蔵館所蔵 皇室の名品-愛知ゆかりの珠玉の工芸-

瀬戸市美術館は、開館40周年を記念して、郷土が誇る珠玉の工芸品を紹介すべく、宮内庁三の丸尚蔵館が所蔵する愛知ゆかりの皇室の名品を展示します。

宮内庁三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた絵画・書・工芸品などの美術品類を大切に保存・管理するとともに、一般にも展示公開することを目的として1993年に開館しました。日本文化の神髄ともいえる皇室に伝わる名品を通して、瀬戸市や愛知県が誇る伝統と珠玉の美をご堪能いただくとともに、皇室をより身近に感じていただく機会となればと思います。



林谷五郎
《七宝菊花形置時計》
1928年 宮内庁三の丸尚蔵館蔵

松井和弘日本画展 2022/8/6-9/25

加藤民吉の真実 2022/8/6-9/11 藤井達吉收藏名品展 9/17-9/25

收藏北川民次展 2022/8/6-9/25

2022/8/6(土)-9/11(日)

磁祖加藤民吉生誕250年事業
瀬戸市・天草市交流連携協定締結記念
瀬戸市美術館開館40周年記念 瀬戸市美術館特別展

加藤民吉の真実 -天草における九州修業-

2022年2月20日に瀬戸の磁祖である加藤民吉は生誕250年を迎えました。以前より行ってきた加藤民吉生誕250年プレ事業からの最終段階として、本展では民吉の九州修業についての史料・作品を展示します。また今回は民吉が修業を行った熊本県天草市の上田家資料を初めて展示し、瀬戸・天草双方の姿からその真実を明らかにします。

2022/8/6(土)-9/25(日)

瀬戸市美術館企画展

松井和弘日本画展

1939年、名古屋市に生まれた松井和弘は、東京藝術大学卒業後、創画展創画会賞等の受賞を経て、1980年には文化庁派遣在外研修員としてイタリアに一年間留学しました。

現在は創画会理事として活躍しています。



松井和弘
《八ッ橋》2013年

瀬戸焼展 2022/10/1-11/27

2022/10/1(土)-11/27(日)

瀬戸市制施行93周年記念
瀬戸市美術館特別企画展

瀬戸焼展 -受け継がれる千年の技と美-

2020年度に「瀬戸焼-受け継がれる千年の技と美-」展が、全国を巡回し、多くの皆様に我が市が誇る作品をご覧くださいました。無事に巡回展を終え、今度はふるさとの皆様に、瀬戸焼が誇る千年の歴史をご覧ください。

本展では瀬戸蔵ミュージアムと瀬戸市美術館が所蔵する1万点以上の作品群の中から、選りすぐった作品を、第1章～第5章のテーマに分けて展示します。

平安より現代まで受け継がれている瀬戸焼の技と美をご堪能ください。



【瀬戸市指定有形文化財】
初代川本樹吉
《染付花鳥図獅子鈕蓋付大師壺》
1876年頃 瀬戸蔵ミュージアム蔵

瀬戸市美術館
Seto City Art Museum

〒489-0884
愛知県瀬戸市西次町113-3
TEL 0561-84-1093
E-Mail art@city.seto.lg.jp
URL http://www.seto-cul.jp/